

都民生涯スポーツ大会 水泳競技 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2020年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。ただし、着用する水着は、形状・素材が競技規則規定に準じていれば国際水泳連盟（FINA）の承認を受けていないものでも使用可能とする。
- (2) 競技は、すべてタイムレース決勝とし、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 競技を棄権する場合の棄権届の提出は不要とする。
招集所での点呼で出席を確認できない選手は棄権として取り扱う。
- (4) スタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに退水する（横退水可能）。ただし、50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに退水すること。
- (5) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。バックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。また、バックプレート、バックストロークレッジを調節する前後は手指消毒を行うこと。
- (6) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (7) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (8) リレーに出場する団体はリレーオーダー用紙を指定の時刻までに本部席に提出すること。なお、指定時刻までに提出されない場合は棄権として取り扱う。
リレーオーダー用紙は大会当日に入場受付で配布する。必要な団体は入場時に受付に申し出ること。
【リレーオーダー提出締め切り時刻】
フリーリレー 10時
メドレーリレー 14時

2 招集について

- (1) 招集は電光掲示および通告で集合を指示する。指示の前に招集所への移動は控えること。
- (2) 招集所では、マスクを着用し十分な対人距離を保つこと。
- (3) 招集前に自身が出場する組とレーンを確認すること。
- (4) 招集所に貴重品を持ち込まないこと。
- (5) 招集所の位置および順路は、別紙「会場図-1」を参照すること。
- (6) 100m以上の種目の招集手順（従来どおりの招集方法）
点呼を受けた後、指定の椅子に着席し、レースの進行ごとに順次一列前の椅子へ移動する。
自分の出場順になったら（競技役員が指示する）荷物を持ってスタート位置に移動する。
- (7) 50m種目の招集手順
点呼を受けた後、指定位置（ウッドデッキ上に目印を設置する）に移動し、自身の出場順番まで同じ位置で待機する。
競技進行に注意し自分の出場順が近くなったら脱衣しレースの用意をする。
自分の出場順になったら（競技役員が指示する）マスクを外し、その場に荷物を置いてスタート位置に移動する。
レース後は、自分の荷物を取りに戻ることに。

3 表彰について

- (1) 本大会において種目別順位表彰は行わない。
- (2) 団体対抗の表彰式は行わない。賞状は後日郵送する。

4 健康管理表について

- (1) 本大会会場への入場には専用の健康管理表の提出を必須とする。提出対象者は、選手・監督・コーチ等すべての入場者を対象とする。
- (2) 健康管理表は、大会出場日の14日前(9/26)から正確に記入すること。
- (3) スマートフォンアプリ(SwimmingTown)利用者は、健康管理表の提出は不要とする。スマートフォンアプリの利用方法は下記を参照すること。

<http://tokyo-swim.org/?p=11207>

5 入退場について

- (1) 会場への入場時刻は、8時30分とする。入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 本大会は無観客で実施する。選手およびチームスタッフ以外の入場はできない。
- (3) 入場は歩道橋上の白ゲートとする。(別紙「会場図-2」を参照)その他の入口は終日締め切りとする。
- (4) 入場の手順は以下のとおりとする。(別紙「会場図-2」を参照)

検温(6番出入口)

- ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
- ・37.5以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

健康管理表提出もしくはスマートフォンアプリ提示(6番出入口)

- ・記入漏れがないか事前に確認すること。
- ・健康管理表またはスマートフォンアプリは、あらかじめ手元に用意しておくこと。

入場許可証発行

- ・検温および健康管理表に問題がない場合に入場許可証を発行する。入場許可証は一時退場した場合の再入場に必要となるので紛失しないように気を付けること。

- (5) 一時退場した場合の再入場は以下のとおりとする。

入場許可証

検温

- (6) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
- (7) 競技終了後は、できる限り速やかに退場すること。
- (8) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。
- (9) 退場(一時退場を含む)は、退場専用口を利用すること。(別紙「会場図-2」を参照)

6 控え場所について

- (1) 控え場所は観覧スタンドのみとする。指定区域外への立入りを禁止する。
- (2) 荷物・カード・紐等での場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) スタンド1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 赤テープが貼られた席は着席禁止とする。(対人距離確保のため)
- (5) 敷物、テント類はいかなる場所にも設置できない。
- (6) トレーナーズベッドの使用は禁止する。

7 更衣室について

- (1) メインプール更衣室を利用すること。入退室はプール側の出入口とする。
- (2) 更衣室では更衣のみ行い、荷物を放置しないこと。ロッカーの利用はできない。
- (3) 更衣室内の扇風機(サーキュレーター)は、換気のために調整済みであるため、向きを変えたり移動しないこと。

8 プールの使用について

- (1) 混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと。
- (2) 監督・コーチによるホイッスルの使用を禁止する。

(3) メインプール

水深 1.6m、水温 28.0 度に設定する。

ウォーミングアップは、午前・午後それぞれ競技開始 15 分前までとする。

ウォーミングアップ時の 1 レーンはスタート側から、10 レーンは折返し側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、利用人数に応じてダッシュレーンを増やす場合がある。

公式スタート練習は行わない。

パドル・コード類の使用は禁止する。

(4) サブプール

水深 1.2~1.4m、水温 28.5 度とする。

全レーン周回専用とする。

飛込みは禁止する。

パドル・コード類の使用は禁止する。

9 監督者会議について

監督者会議は行わない。

10 感染症拡大予防について

(1) 東京都特別水泳大会ガイドラインを熟読の上、厳守すること。

(2) ガイドラインに従わない場合、係の指示に従わない場合は退場処分とする。

(3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

11 会場内での食事について

会場内で食事をする場合は、感染症予防対策を十分に行うこととし、以下の注意事項を厳守する。

食事中は会話をしないこと。

十分な対人距離を確保すること。(2m以上)

他者と取り分けをしないこと。

ゴミは必ず持ち帰ること。

12 プログラム(スタートリスト)

プログラムの販売・配布は行わない。スタートリストはホームページで確認すること。

13 競技結果(速報)について

(1) 会場内で競技結果の貼りだしは行わない。

(2) 競技結果はプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

<http://tokyo-swim.org/>

14 その他

(1) 熱中症に注意すること。

こまめな水分補給を心掛けること。

ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。

会場への入場待ちが長時間にならないよう到来時間には十分配慮すること。

(2) 選手の家族を含め、応援・観覧のための入場はできない。

(3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。

(4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップサック等に入れて管理すること。

(5) 忘れ物は、入退場受付に保管する。最終日競技終了後、破棄する。

(6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。

(7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。

(8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。

(9) 会場内外での所属ミーティングは禁止する。

(10) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。

(11) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

15 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10 時 ~ 17 時)

大会当日の連絡先 03-5534-6388 (大会当日のみ)